

平成 29 及び 30 年度 小田原森里川海インキュベーション事業“^{よせぎ}寄気”募集要項

1. 事業の趣旨

かつての城下町・宿場町として知られる神奈川県小田原市は、箱根連山に連なる緑豊かな山林、足柄平野の田園地帯を潤す酒匂川、滋養ある真水が豊富に流れ込む雄大な相模湾など、市域内に森・里・川・海といった自然環境がオールインワンに揃っており、また、そうした環境が、寄木細工などの木工業や蒲鉾・干物などの水産加工業といった地域の生業や文化を育むなど、長い年月をかけて人と自然の共生が図られてきた地域である。しかしながら、近年の、大規模な開発、人口減少・ライフスタイルの変化による自然の管理不足、鳥獣被害の深刻化等により、森里川海のつながりが徐々に薄れ、耕作放棄地の増大、森林や里山の荒廃、河川の氾濫頻度の増加、ブリ等の水産資源の減少、自然とのふれあいの機会の喪失といった問題が生じており、これに伴い、市民の環境に対する意識も相対的に低下している。地域の森里川海を保全しようとする団体・個人の活動は盛んであるが、人(担い手)・金(活動資金)・情報(情報発信を含む)の不足によりその多くが先細りしている。

こうした中、平成 28 年 3 月に、市内の環境団体・個人の取組みをつなぎ、支え合うための環境団体等の中間支援組織として「おだわら環境志民ネットワーク」(以下、ネットワークという)(注1)が設立されたところであるが、ネットワークに求められる機能を持続的かつ発展的に担うために人的にも経済的にも自立した組織体制とすることを目指し、環境省の「つなげよう支えよう森里川海」プロジェクト(参考)と連携し、ネットワークの中核(事務局)として市内の環境団体・個人をコーディネートできる人材の育成と自立のための経済的な仕組みの構築を図る。

2. 事業内容

小田原市、ネットワークと共同して調査研究を行う大学等を募集し、当該大学等が持つ専門的な知見と大学生等の発想力・発信力・行動力等を活かして、小田原の自然資源を活かした地域づくりとしてネットワークが持続的に活動していくための経済的な仕組みについて調査研究を行う。

本事業への参加大学等は次に掲げる方法により調査研究を実施することとする。

ア 教員及び学生が文献研究、ヒアリング、フィールド調査その他大学等が提案する調査研究等を行う。ヒアリング及びフィールド調査の日程及び内容等は小田原市と協議の上で決定する。

イ 小田原市が開催する、ワークショップ及びシンポジウム等に参加する。

ウ 調査研究の進捗状況については、定期的に小田原市に報告するとともに、小田原市が開催する中間報告会及び結果報告会に参加し、発表する。

エ 小田原市が開催する、参加大学等間の意見交換会に参加する。

オ 調査研究内容等について、広くPRする。

- カ 調査研究の実施結果について、平成 31 年 3 月 31 日までに報告書を作成し小田原市に提出する。
- キ その他、研究成果の具現化に向けた市及びネットワーク等の取組みに協力する。

3. 事業の実施期間

小田原市と本事業の実施に係る協定を締結した日から平成 31 年 3 月 31 日まで

4. 費用

本事業実施にあたり、次の経費について事業費として支給する。

(1) 対象経費

ア 交通費(小田原市が開催するワークショップ及びシンポジウムへの参加並びに小田原市と調整の上で実施するヒアリング及びフィールド調査等に係る旅費)

イ 保険料

ウ その他、小田原市と大学等が協議の上で、事業の実施に当たり支払うことが適当と認める費用

(2) 上限額は、1年目(平成 29 年度)30万円、2年目(平成 30 年度)20万円とする。

(3) 調査・研究費用の支払時期等

小田原市と協議の上、決定する。ただし、前払いは不可。

なお、本事業は環境省「地域循環共生圏構築検討業務」として行うものであり、対象経費については環境省より業務を請け負う者が直接支払う。

5. 募集件数

5団体程度

6. 応募資格

(1) 大学(大学院、短期大学及び専門学校を含む)に在職する教員が指導するゼミや研究室等(複数のゼミ等が共同で行うことも可)。

(2) 申請者は、大学(大学院、短期大学及び専門学校を含む)に在職する教員。

※本事業の実施にあたり、原則大学ゼミ等を指導する教員と小田原市の間で事業実施に係る協定を締結する。なお、複数のゼミ等が共同して調査研究を行う場合には、教員の代表者と締結する。

7. 応募期間

平成 29 年 2 月 24 日(金)から平成 29 年 3 月 24 日(金)まで(必着)

8. 応募方法

次のア、イに必要な事項を入力の上、小田原市環境政策課担当あて電子メールで提出する。

ア 平成 29 及び 30 年度小田原森里川海インキュベーション事業“^{よせぎ}寄気”申請書

イ 大学ゼミ等構成員名簿

9. 選考方法

(1)選考は、提出された応募書類により審査し、取り組みたい調査研究テーマ及びその理由等を勘案して決定する。

(2)選考結果は、応募のあった全てのゼミ等に、平成29年4月中に文書で通知する。

10. 提出先

小田原市 環境政策課 環境政策係

〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪 300 番地

TEL 0465(33)1472

E-mail ka-kansei@city.odawara.kanagawa.jp

11. 問合せ先

小田原市 環境政策課 環境政策係 担当:石井、杉田

〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪 300 番地

TEL 0465(33)1472

E-mail ka-kansei@city.odawara.kanagawa.jp

【注1】おだわら環境志民ネットワーク

平成 28 年 3 月に、小田原の森里川海ひとつらなりの美しく豊かな自然環境を次世代に残していくことを目的に、小田原市全域を対象として地域の森里川海に関わる団体・個人の取組みをつなぎ、支え合うことによりそれぞれの活動を拡充するための環境団体の中間支援組織として設立(現在 17 団体・企業/14 個人が加盟)。現在、加盟団体・個人の横連携を強化するための意見交換会等の開催や Facebook を活用した情報発信を行っている。

【参考】「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト

<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>